

(※個人名、活動写真等は非公開としています。)

(様式1) **府民活動**

## おおさか環境賞 推薦書

推薦する活動

活動名	天見子ども自然とあそびの教室 (環境教育次世代育成活動)
活動の種別	別紙「おおさか環境賞の対象となる活動と選考基準」を参照し該当するものに○印を付けて下さい  1. 豊かな環境の保全又は創造に資する調査研究活動 ②. 豊かな環境の保全又は創造に資する教育啓発活動 3. 豊かな環境の保全又は創造に資する実践活動 4. その他これに類する活動
活動開始年月	2005年 5月 ~ (継続年数 12年 月)

被推薦者

氏名 又は 名称 <small>(協働活動の場合は、主たる活動者を記入)</small>	ふりがな あまみ こどもしぜんとあそびのきょうしつじっこういんかい		
	「天見子ども自然とあそび教室」実行委員会 代表者職・氏名		
住所 又は 所在地	概要	*活動分野 (団体としての主な活動分野を記入してください) 自然体験活動 (環境教育) 当教室の管理運営実行をしている。  *設立年月日  2005年 4月 1日  *構成員数 14人	

(協働者※)

※活動内容が他の団体・事業者等との協働 取組である場合のみ(記入ください)	協働者の名称	ふりがな かわらながのがすかぶしきかいしゃ 河内長野ガス株式会社 代表者職・氏名
	協働者の所在地	

協働者が2者以上になる場合は、協働者の名称・所在地を記入する欄を適宜追加してください。

(※個人名、活動写真等は非公開としています。)

## 活動内容等

### ◆活動の内容（具体的に記入して下さい）

河内長野市立天見公民館及びその周辺にて、月1回（4月を除く）、河内長野市内の小学生対象に自然体験活動を通して環境教育活動を行っている。

天見地区の自然とふれあう事をテーマに、河内長野市内の小学校から集まった小学生達が、大学生を中心としたリーダーの指導の下で活動を行っている。

月1回季節に応じた各月の活動内容は、以下の通りである。毎年4月に河内長野市内の小学生を対象に募集を行い、応募多数の場合は、抽選となる。大学生のリーダーは、提携している大学から推薦等で選ばれ、個性あふれるリーダーが集まってくる。そして、活動をサポートするのが、「天見子ども自然とあそび教室」実行委員会の事務局員でコーディネーターの 氏やシルバーアドバイザー河内長野や地域の福祉委員、河内長野ガスOBを含むボランティアの方々及び河内長野ガスのスタッフである。

活動日は、朝早くから、大学生のリーダー、指導者、協力者が集まり、事前の打合せを行い活動の準備をする。その中で、活動中に予測される危険性を確認し指導者に注意を促す。また、自然観察やクラフトの方法、魚釣りのやり方やしめなわの作り方などを、子ども達に教えらえるよう、大学生のリーダーが前もって体験を行うと共に指導方法を習得する。慣れない大学生は四苦八苦している様子である。午後になると、やってくる子ども達の安全を図るため最寄り駅まで迎えに行く。全員集った後、グループに分れて活動を開始する。子ども達に生きた自然に触れ合えるよう工夫をするが、初めは虫や魚を怖がったり、自然の中での集団活動にとまどいながらも、リーダーのサポートを得ながら、様々な自然体験を積み重ねることにより、目を輝かせ、積極的に活動するようになる。

活動の基本方針は子ども達に生きた自然を5感を使って「観て、聴いて、味わい、匂い、触れる」ことにより自然の素晴らしさや不思議さを学び自然を大切にすることを養い、グループで活動することにより、お互いの交流と協力し切磋琢磨することで自然体験をとおして「こどもの生きる力」を育めるように活動を行い自然環境への関心を高める。

活動の内容等

この活動には大学からレクリエーションインストラクターの資格取得や幼児教育専攻の自然教育コースの体験実習のための実習生が来て、リーダーとして活動することにより、子ども達への指導方法を取得できるような内容にしている、リーダー共々、青少年の自然体験の指導者養成の場ともなっている。

参加者には、毎月伝言カードを作成し、毎月活動終了後に来月の活動案内を持って帰らし、その裏面に、子どもが家に帰って自然体験した活動中のことを親に話し、その内容から親はどう感じたかを記して翌月に提出してもらう。

主催者はその月に意図した内容や指導方法が子ども達にきっちりと反映され、成果があったか等の評価を得られ、次への改善点にもなる。

また、この伝言カードで活動中の内容を子どもから親が聞くことにより、子どもがどんなことを学んだり、楽しんでいるのが理解でき、このことが親との会話に繋がっている。

この活動は天見地区の場と人の協力によって成り立っている。

活動の場は自然豊かな天見地区の私有地を利用させてもらっている。また天見地区の自治会長、福祉委員長を中心とする方々が活動を支えてくれている。例えば、公民館横の宮山では、自由に活動でき、竹を切ったりすることも可能。焼いもやバームクーヘン作りで火を使う場合は、火床の準備や燃やす木を準備したり、焼く作業も手伝ってもらったり、魚つりをする堤防の草刈り、川へ降りる階段づくり、しめ縄づくりの指導、子ども達の観察用に野菜を栽培してもらったり、活動場所までの荷物の運搬など、全てボランティアで協力してもらっているので、活動もスムーズに流れている。

長野ガスさんのスタッフの方が子ども達の安全を図るため、最寄り駅までの送迎や活動中の支援を行っていただいている。

河内長野ガスは、自然を知り、自然を慈しむ心を育むと共に、一緒に活動する仲間との交流をとおして、友だちづくりなど人間関係を豊かにする力を育てることを目的とするという「天見 子ども自然とあそび教室」実行委員会／特定非営利活動法人ナック（NAC）の理念に賛同し、協賛させていただいている。

(※個人名、活動写真等は非公開としています。)

### 各月の活動内容例

- ・5月「野や山の宝物さがし」
- ・6月「ネイチャーゲーム」
- ・7月「竹のクラフト」
- ・8月「川遊び・水生生物観察」
- ・9月「川遊びと魚釣り」28年度は川が増水し室内活動に変更
- ・10月「どんぐりひろいとクラフト」
- ・11月「天見周辺をポイントハイキング 草や木の実や種を集めよう」
- ・12月「お正月のしめなわづくり」
- ・1月「落ち葉で焼きいも」
- ・2月「レクレーションとゲーム」
- ・3月「家族と一緒にカーニバル」

河内長野ガスの社員もこの教室に協力参加している。子ども達が、たくさんの自然とふれあう事を大切に考え、河内長野ガスは今後もこの活動に協賛させていただく。

### ◆活動の頻度 (いずれかに記入して下さい)

毎 日 ・ 週 日程度 ・ 月 1日程度 ・ 年間 11日

その他 (具体的に記入してください)

活動は月に1回であるが、事前に活動内容の検討と資料の準備、コースの安全を確保するための下見を実施している。

### ◆活動の特色

- \*環境の保全・創造への寄与(効果)、地域における活動の推進や地域への貢献性、広域的・国際的な広がりや波及効果、先進的・独創的な取組み、活動の継続性や実績など、創意工夫されている点や他の模範となる点などについて記入して下さい。

自然体験活動を通して自然環境への理解を高めるための主な活動は

(1) 自然とふれあう

大学生のリーダーの指導のもと、5月は「野や山の宝物さがし」天見地区を散策し、匂いのするもの、チクチクするもの、かわいい花、生きものを捜す。ヘビやカエル、アカハライモリなどを始めて見たり、触って、見たりで生きた自然を観察する。6月のネイチャーゲームでは、自然物の中でゲームをしながら学ぶ、7月は竹林から竹を切り出すことから始め、ノコギリの使い方を学ぶ、竹コップリや水鉄砲を自分で作り、作ったもので遊ぶ。ゲーム機ではなく、自然の遊びの素晴らしさを学ぶ。8月は水生生物の採取を通じて、生き物の生態を学び、命の大切さを学んでいく。サワガニを掴むのに苦労して、家に帰りカニを捕まえる事が出来たと大喜びで親に話しをしたりもする。9月は魚釣り、生きた虫を針に刺して釣るので、虫の苦手な子は大変、釣れると魚を触る。ぬるぬる感や匂いが初めてでこれもまた大変。生きものは、今いた場所以外では直ぐに死ぬので、観察後は元へ戻してやることも学ぶ。こんなことの繰返しで、自然とふれあう機会が積み重なり、自然の素晴らしさを体験すると共に自然を大切にすることを養う。

活動写真

ボウフラを観察

活動写真

ノコギリを使い竹ぼっこり作り

活動写真

採取した生き物を大きく描く

(※個人名、活動写真等は非公開としています。)

	<p>(2) 自然の中で作る楽しみを知る 7月の竹を切って、水鉄砲や竹コップリを作る。10月は自分達拾い集めたどんぐりを使って、キーホルダーやフォトフレームを作り、また、どんぐりコマを作って、コマ回し大会をしてどうすれば長く回るか等を考えながら楽しんだ。12月は、しめ縄作りで、藁を打つ所から始め、藁を縛うのは難しいが、藁の感触を味わながら、稲は捨てる所がないことや、自分で完成したしめ縄をお正月に飾ってもらって日本の伝統文化を親子で味わっている。子ども達の自然に対する見方が変わったようだ。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; width: 30%; height: 100px; text-align: center; vertical-align: middle;">活動写真</div> <div style="border: 1px solid black; width: 30%; height: 100px; text-align: center; vertical-align: middle;">活動写真</div> <div style="border: 1px solid black; width: 30%; height: 100px; text-align: center; vertical-align: middle;">活動写真</div> </div> <p style="text-align: center;">水鉄砲でどこまで飛ぶか                      どんぐりコマで競争                      しめなわづくり</p> <p>(3) 自然を食して笑顔になる 春は天見地域を散策しながら、「イタドリ」を少しかじったり、秋はどんぐりを焼いて食べたり、11月の散策では「フユイチゴ」を採って食べたり、1月はたき火をして「さつまいも」を焼いて食べる。3月は竹を利用して、バームクーヘンを焼いて食べたりもしている。自然の中で自然の物を食べた子どもたちの顔は、みんな笑顔だった。自然の中で、活動をしてきた子どもたちへのご褒美であった。自然からの恵みを味わうことにより自然への興味が増し、自然の素晴らしさを肌で感じることができている。 「天見 子ども自然とあそびの教室」に参加する子ども達は、毎年、変わるが、この笑顔は、変わらず引き継がれていくに違いない。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; width: 30%; height: 100px; text-align: center; vertical-align: middle;">活動写真</div> <div style="border: 1px solid black; width: 30%; height: 100px; text-align: center; vertical-align: middle;">活動写真</div> <div style="border: 1px solid black; width: 30%; height: 100px; text-align: center; vertical-align: middle;">活動写真</div> </div> <p style="text-align: center;">どんぐりを焼いて食べる                      焼きたての 焼いも                      大バームクーヘン焼きあがり 活動写真</p>
<p>活動の経緯</p>	<p>*活動の主な経緯について記入して下さい。(長期にわたる場合は概ね過去10年程度)</p> <p>平成17年 5月から平成18年3月まで11ヶ月      定員35名が月2回 平成18年 5月から平成19年3月まで11ヶ月      定員35名が月2回 平成19年 5月から平成29年3月まで10年間      定員35名が月1回 12年間で小学生の延べ参加者数 4537人      スタッフの延べ協力者数 3205名</p>
<p>協働取組について</p> <p>(活動内容が他の団体・事業者等との協働取組である場合のみご記入ください。)</p>	<p>◆協働取組の役割分担</p> <p>主催 天見子ども自然とあそび教室実行委員会 共催 特定非営利活動法人ナック (NAC) 協賛・協力 河内長野ガス 助成 子どもゆめ基金の助成金を受けている</p> <p>協働への取組み 民間のNPO法人ナックが中心となり行政、地域、企業が協働して取り組んでいる活動で実行委員会形式で運営することにより各団体の特性を生かし、お互いが協力仕合うことで事業が運営できている。 実行委員会は年2回開催し運営の全体統括 実行委員会の構成は河内長野市教育委員会・河内長野市天見公民館・NPO法人ナック (NAC) 河内長野ガス株式会社・天見地区連合会長・上岩瀬地区自治会長・下岩瀬地区自治会長 清水地区自治会長・天見地区福祉委員長・地区民生児童委員</p>

(※個人名、活動写真等は非公開としています。)

	<p>主な役割は 教育員会は募集広報、資料印刷 天見公民館は拠点の活動場所の提供、募集受付 河内長野ガスは事業への賛助、活動へのスタッフ応援 NPO 法人ナックは委員会の事務局 活動の企画運営実施、指導者の配置、全体コーディネイト 活動報告をホームページにアップ 上下岩瀬地区及び清水地区は活動場所の提供、活動への支援 福祉委員会は活動へ毎月2名の支援</p> <p><b>◆協働取組によるメリット</b> (※協働取組により【実現できたこと】や【地域や社会への影響】など) 河内長野市内から毎回 定員を超える応募があり、事業に期待されている。 協働により地域との連携がうまく進み、活動の種々の面に積極的に協力してもらえ 地域の自然を生かした活動を展開しているので、地域の活性化に協力できている。 活動拠点である公民館事業に協力できている。 (1) 自然を通して、河内長野の次世代を担う子ども達の心身の成長に貢献している。 (2) この活動を、特定非営利活動法人ナック (NAC) や河内長野ガスのホームページで紹介 しており、山や木や川等、自然に満ち溢れた河内長野の中で、成長していく子ども達の様子を伝 えるとともに、この地域の良さを伝えることができたと考えている。また活動をとおして環境教 育の啓発に協力できている。</p>
参考事項	*同一の活動による表彰歴、活動に関して特筆することがあれば記入して下さい。

☆ 活動に関する参考資料があれば添付してください。 ★28年度の活動報告書

## 推薦者

団体名 代表者名	河内長野市 代表者氏名
所在地	
推薦理由	<p>河内長野市は、市域の約7割を山林が占める緑豊かな自然に恵まれた都市であり、この自然環境を保全し、活用するとともに次世代に残していくため、環境教育に取り組んでいるところです。</p> <p>天見子ども自然とあそびの教室は、次世代を担う小学生に天見地区の豊かな自然を活用したネイチャーゲームや生物観察などのプログラムを用意し、あそびを通してそこに息づく生物や植物に接することにより自然の大切さや環境の保全の必要性を学び、自然への関心を高めるとともに「生きる力」を育むことを目的としている。また、子どもたちがその日の活動を家庭で家族に話すことにより、親の世代にも自然環境の保全に関心を持ってもらえることになる素晴らしい取り組みです。</p> <p>この取り組みは、河内長野市が掲げる教育大綱の基本方針である「本市が有する豊かな自然や貴重な文化財、地域行事、先人の教えといった伝統や文化を子どもたちの教育や生涯学習に活かし、自分たちが住む「ふるさと河内長野」を誇り、大切にすることを育成すること」につながるものです。</p>



(※個人名、活動写真等は非公開としています。)

28年度「子どもゆめ基金」助成活動

概要版

平成28年度

河内長野

「天見 子ども自然とあそびの教室」



報告書

主催 天見子ども自然と遊びの教室実行委員会・NPO法人 ナック(NAC)

「天見 子ども自然とあそびの教室」は、子ども達の生活において、触れることが少なくなった自然を理解し、自然の中で楽しむことを学ぶ自然体験活動の教室です。平成 17 年度文科省「子どもの居場所事業」からスタートし、平成 19 年度からは「子どもゆめ基金」の助成金をいただき平成 28 年度で 12 年目を迎えました。

子ども達が接する自然の場は、河内長野市の南部、天見地区にある天見公民館を拠点にした周辺地域（半径約 1.5km）の山里を中心に展開されます。

運営は地域の方を中心にした実行委員会が行い、全体のコーディネートは NPO 法人 ナック(NAC)が、指導面は大学生・社会人・シルバーなどのボランティアが担当し、他、地域の方や様々な方の協力で成り立っています。

保護者の方からこの教室のよかったことは「普段経験できないことが、この教室に参加することで体験させてもらった」「他の学校、学年との友達との交流ができた」「一人でも参加できた」などの言葉をいただいております。

参加した子ども達が、指導者と共に、自然のすばらしさに触れ感じ、また、自然の営みなどに接したことを、家に帰り話しをすることにより、家族との会話が生まれ、より自然への親しみが深まり、心の成長と共に、将来にわたる持続可能な社会の形成に理解を示す子ども達になってほしいと願っています。

## 目 次

1.	活動場所の地図	2
2.	事業報告	3
3.	参加者及び保護者の自然体験等	6
4.	毎月の活動内容	7
5.	活動内容のアンケート結果	18
6.	関係者・リーダーのコメント	20



# 「天見 子ども自然とあそびの教室」活動場所の地図



## ★河内長野市立天見公民館 (集合・解散場所)

### 活動拠点

- 28年度の活動場所(公民館から北西へ1.3km・東へ1.4km・南へ1.5kmの範囲で実施)
- 5月は公民館周辺の里山と薬師寺 周回コース約1.8km
  - 6月は薬師寺(雨で公民館に変更) 7・12月は公民館
  - 8月は岩瀬川、公民館から東へ約700mの場所
  - 9月は天見川、北西へ約1.3km(増水で公民館に変更) 10月はヘリポート広場
  - 11月は塞の神(サイノガ)から関電鉄塔への周回コース約2.8km
  - 1・3月は公民館から約700m 才の神南の信号を北へ200mの広場
  - 2月は天見小学校体育館 公民館から南へ約1.5km(直接小学校集合)

天見 子ども自然とあそびの教室実行委員会事務局

## 「天見 子ども自然とあそびの教室」の事業報告

### 1. 目的

河内長野市の山里にある天見公民館を拠点とし、地域の自然環境を利用し、子ども達が指導者と共に自然体験活動をとおして、自然と接し、学び、遊ぶことにより、仲間意識や生活の知恵を学び「生きる力」を育み、自然環境への関心を高める場づくりと共に指導者の養成を図ることを目的とする。この教室は平成17年にスタートし今年度で12年目を迎えた。

### 2. 実施期間

平成28年5月15日(日)～平成29年3月12日(日)基本毎月第3日曜で月1回

### 3. 活動場所

天見公民館を拠点として天見地区の自然環境を利用

### 4. 主催・協賛

主催:天見 子ども自然とあそびの教室実行委員会・共催:NPO 法人ナック(NAC)

(実行委員会は教育委員会・公民館・地域・河内長野ガス・NPO ナックで構成)

協賛:河内長野ガス株式会社

### 5. 運営

NPO 法人ナック(NAC)が中心になり、事業の計画・指導者の配置・当日の運営・保護者等への対応を行う。

### 6. 運営経費

参加費・子どもゆめ基金の助成金・河内長野ガス賛助金

### 7. 参加者

対象者:小学1年生から6年生 募集定員:35名 受入数:36名

参加費:12000円(11回分初回に徴収)

### 8. 募集状況

・市内の全小学校13校及び公共施設へ募集チラシ配布(4月上旬)

4月23日当日消印有効 27日に抽選 28日に結果発送

・応募者 74名の小学校別内訳

・天野 2・天見 2・石仏 6・小山田 3・加賀田 5・川上 12・楠 8・高向 2・千代田 6・

・長野 11・南花台 5・美加の台 2・三日市 10・私立(未記入)0

・応募者 74名の学年別内訳

1年 14名・2年 26名・3年 11名・4年 18名・5年 4名・6年 1名

・参加者 応募者74名を抽選で36名を選定(定員35名を1名増)参加者の小学校別内訳

・天野 1・天見 0・石仏 4・小山田 2・加賀田 3・川上 4・楠 4・高向 2・千代田 3・長野 5

・南花台 5・美加の台 2・三日市 1・私立 0

学年別内訳は1年 7名・2年 11名・3年 10名・4年 8名・5年 0名・6年 0名

今年度は1・2年生が18名で全体の50%

### 9. 活動内容と参加者数

28年5月から29年3月までの内容 別紙

### 10. 地域等との連携・協力

・天見公民館と毎回連携して実施

・教育委員会の協力(実行委員会への参画、事業広報、資料印刷、学校使用他)

・地元の上岩瀬地区・下岩瀬地区・清水地区が運営協力

- ・実行委員及び天見地区福祉委員会(活動への応援)
- ・河内長野ガス(株)(賛助金・活動への支援・電車の送迎)
- ・南海千早口駅(プラットホーム等へのスタッフの入場)
- ・5月畑で野菜の説明と提供(室 義清さん)
- ・6月薬師寺境内を借用(ネイチャーゲーム会場)雨天で使用できず
- ・8月川あそび 浦田さんの家の前庭、更衣場所、トイレ等の協力
- ・9月川あそびと釣り 下岩瀬地区の方に草刈り他 雨天と増水のため実施できず
- ・10月中浦正文さん所有の山林広場(ヘリコプター基地)をどんぐり工作会場として借用
- ・11月井実さん製作の森のブランコ広場の借用
- ・1月(焼きももゲーム)・3月(カーニバル)会場として柳本さん稲盛さん所有の畑を借用
- ・活動日のスタッフ弁当を地域の「友邦」(上岩瀬農産物加工所)へ依頼
- ★地域に密着した活動で地域の方々の協力で活動が展開できている

### 1 1. 指導者

運営指導に、**・NPO 法人ナック指導者、府青少年活動財団指導者の各 OB/OG、**  
 シルバーアドバイザー河内長野、四天王寺大学・帝塚山学院大学・関西福祉科学大学  
**・大阪大谷大学の学生及び OB・OG**

活動の専門指導に**・6月 大阪府シェアリングネイチャ協会** **・7月 烏帽子里山保全クラブ**  
**・10月 シルバーアドバイザー河内長野** **・12月 鶺鴒 武地元実行委員**  
**・2月 河内長野市軽スポーツ協会**

実習生は5月から11月で帝塚山学院大学・大阪大谷大学の延 20名受入れ

### 1 2. 子どもや保護者への配慮

- ・初回の 5/15 は、四天王寺大学の奥野孝昭准教授と事務局の松尾から保護者への説明会を実施。事業の主旨、1年継続の意味や安全面への対応、保護者への協力事項等を説明
- ・毎回6グループ編成にしリーダーをグループに1名以上を配置し、生活面や活動の指導
- ・全体統括・安全指導及び必要に応じてスタッフを配置・活動内容により専門の指導者を依頼
- ・「伝言カード」(保護者と主催者との連携)の内容は表面が次回の案内。裏面は、その月の家庭での会話や感想。運営者への連絡。次回実施当日の健康状況等を記入し翌月に持参
- ・子どもの活動時の様子を次回のリーダーに引き継ぐため「チョットメモ」記録を実施
- ・最終回の3月には、保護者も一緒に自然体験や子どもと一緒に活動できるカーニバルを実施
- ・毎月の活動内容の報告を NPO 法人ナックのホームページに掲載

### 1 3. 安全

- ・活動時で道路を通行の場合は細心の注意。うるし等の植物。公民館駐車場での事故防止
- ・千早口駅への送迎、行き帰り共、最後尾車に乗車を指示、帰りは電車に乗車まで指導
- ・当初に参加カード提出。毎回健康管理を伝言カードなどで把握し各担当リーダーに連絡
- ・毎回受付終了後、欠席連絡がない保護者に電話で出欠確認(道中での安全確認)
- ・コースや活動場所の下見を毎回実施しコースの状況や自然環境・安全面を確認
- ・参加者・指導者・実習生共にボランティア保険に加入(今年度は左親指の先を小刀で少し切る)

### 1 4. その他

・今年度も国道 317 号線バイパスのトンネル工事が実施されたので、安全面を考慮して当初から使用させていただいていた「宮山」が使用できなかった。代替えの会場で実施し天見地区の皆様の協力をいただいた。

ただ、「宮山」は公民館の側で、恵まれた自然環境の活動場所であり、使用できないのは事業の趣旨からしても残念である。

- ・昨年に南海電鉄の時刻改正があり千早口駅着を **13:09** に指定変更し開会が **13:20** と早めた。
- ・最終の保護者からのアンケート評価では「よかった・まあまあよかった」が **100%**であった。
- ・協力いただいた地域の方やリーダー、専門指導者、大学、実行委員の皆様へ感謝です。

別紙

#### 8. 活動内容と参加者数など

回数	月日	会場	内容	参加者数	スタッフ数	天候
第1回	5月15日 (日) 13:30~16:35	公民館 下岩瀬地区	開会式 「野や山の宝物さがし」 下岩瀬の村内の寺・里を散策	35名 保護者等 43名	31名	晴れ
第2回	6月19日 (日) 13:20~16:30	薬師寺境内が 雨天のため 公民館	室内でネイチャーゲーム、 動物セクサー・落ち葉の窓他	34名	27名	雨
第3回	7月17日 (日) 13:20~16:35	公民館駐車場	竹のクラフト、 竹ぽっこり・マグカップ・水鉄砲	33名	36名	曇り 一時雨
第4回	8月21日 (日) 13:20~16:35	公民館 上流の岩瀬川	川あそびと水生生物観察	32名	26名	晴れ
第5回	9月18日 (日) 13:30~16:35	天見川が増水と 雨天のため 公民館	魚つりと川あそび増水で中止 竹箸・割り箸鉄砲作り	34名	28名	雨
第6回	10月23日 (日) 13:20~16:35	公民館 岩瀬地区の山	どんぐり拾いとクラフト どんぐりでフォトフレーム飾り・コマ	27名	20名	曇り
第7回	11月20日 (日) 13:20~16:35	公民館 上岩瀬地区	秋の木や草の実さがしハイク 塞の神から関電鉄塔コース	29名	21名	小雨か ら曇り
第8回	12月18日 (日) 13:20~16:30	公民館	しめなわづくり	27名	21名	晴れ
第9回	1月15日 (日) 13:20~16:30	公民館 371号バイパス 道路下広場	落ち葉で焼きいもとゲーム	29名	22名	晴れ
第10回	2月19日 (日) 13:20~16:30	天見小体育館	レクリエーションスポーツ・ゲーム	35名	27名	晴れ
第11回	3月12日 (日) 13:00~16:00	公民館 371号バイパス 道路下広場	家族で天見のカーニバル 閉会式	36名 保護者等 57	30名	晴れ

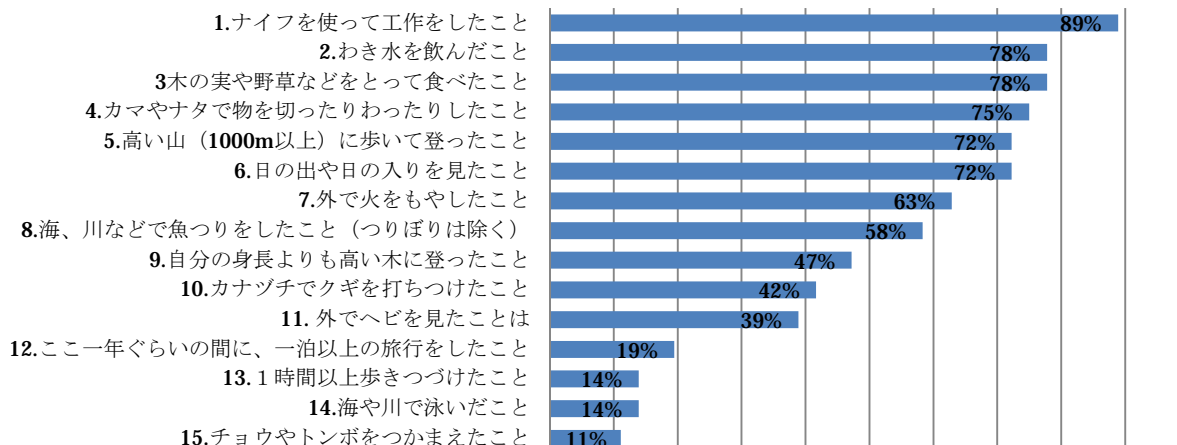
28年度 年間の参加延べ数 参加者 351名 家族等 100名 スタッフ等 289名

※今年度も国道371号線バイパス工事のため「宮山」が使用できなかった。

# 平成 28 年度「天見子ども自然とあそびの教室」参加者及び保護者の自然体験度等

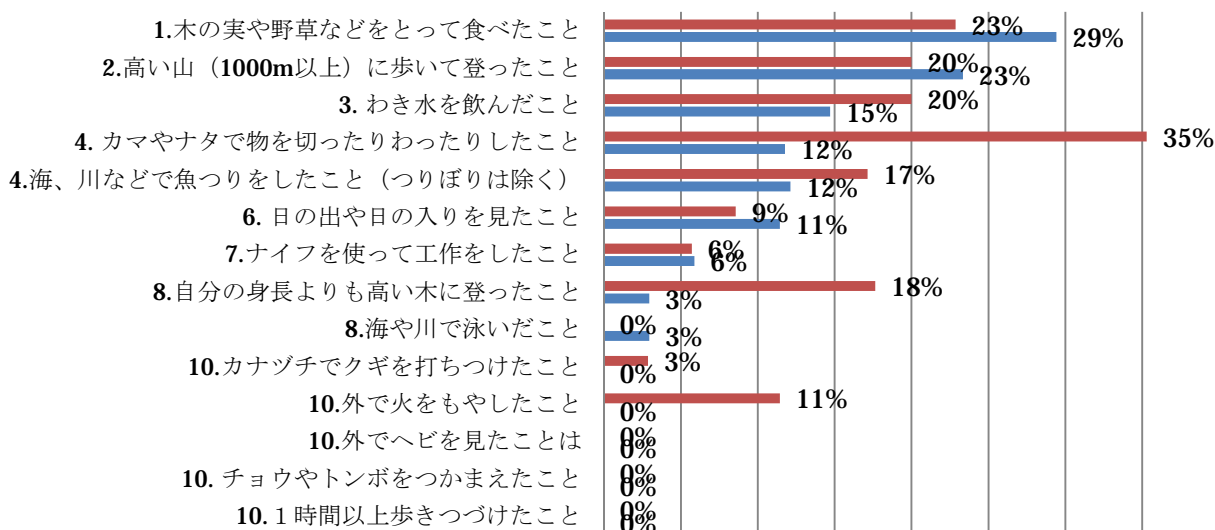
事業実施前にアンケート調査をした結果

## 28.参加者 一度も体験したことがない自然体験 36人中



## 28.保護者 一度も体験したことがない自然体験

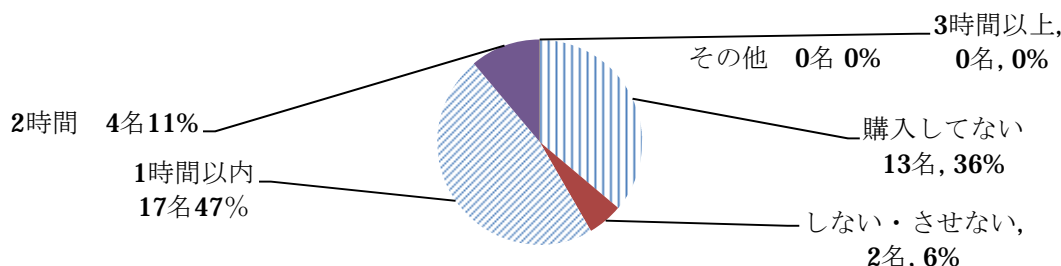
母親上 ■ 35人 父親下 ■ 34人



## 28.参加者 一度も体験したことがない生活体験 36人中



## 28.参加者 1日平均どのくらいゲーム機などであそんでいますか



実施期日	平成28年5月15日(日) 13:30~16:35	天候 晴れ
実施場所	河内長野市天見公民館及び宮山~下岩瀬地区周辺	
参加者	35名(欠席1名) 保護者43名	指導者協力者24名 実行委員7名

(活動実施内容)

13:09 千早口駅着の電車で今日は保護者と一緒に。券売機で帰りの切符を購入し公民館へ。受付で参加費や参加カード等を渡し駐車場の桜の木の陰へ集合。

13:30~開会式。 実行委員長、 公民館館長から挨拶があり、実行委員やリーダー・スタッフを紹介。アイスブレイクのゲームの後、グループに分かれて自己紹介等をし「野や山の宝物さがし」に下岩瀬地区の里山へ出発。

13:50~保護者は公民館の和室へ。四天王寺大学の 先生から「子どもと自然教室」の話と主催者の コーディネーターから事業の説明と協力依頼があった。

14:00~子ども達は「ちくちくする物・匂いのする物・かわいい花・生き物」等を探し見つけた物を用紙に記入。葉っぱ遊び「カラムシ」の葉っぱを手でポンと鳴らしたり、ドクダミやユズの葉の匂いを嗅いだりユズの棘も見る。薬師寺では鉢の水溜りで「ボウフラ」を見たり、畑の電気柵のクイズもした。地元の室さんの畑では「人参・ごぼう・大根等」の赤ちゃんを抜いて見せてもらい、玉ねぎとニンニクの匂いを比べたり。最後の草広場では鬼ごっこや縄跳び草笛にも挑戦。

16:10~公民館に戻り、色々な発見や体験等の「ふりかえり」をして 16:35 解散

活動写真	活動写真	活動写真
	この葉 チクチクする 棘がある「アザミ」	
		さんの畑で、人参・大根・ごぼう・じゃがいも等の赤ちゃんを見せてもらって戴く

公民館駐車場 桜の木陰で開会式 委員長挨拶

伝言カードの言葉 ①は子どもさんと保護者の会話 ②は保護者の感想

**3年生男子**

- ①今日とはどんなものを見つけたの?と聞くと「ヘビが2匹おったで~!」と興奮していました。「あと、カエルとトノサマバッタとか、ボウフラ!」  
私は虫が苦手なので「え~!!」と言うと「ヘビは顔が可愛かったで」とヘビって可愛いのか・・・?!  
もっといろんな生き物を探したいようでした。
- ②自然豊かな環境の中で、見て、触れて、感じて、今まで自分の知らなかった事を知ってくれるといいなと思いました。

**2年生女子**

- ①「ママ、チクチクするものは何でしょう」「この花の名前知ってる?私知ってる!」とうれしそうにいろんな問題を出してきてくれました。持ち帰った かわいい大根を「植えて大きくする!」とすぐに庭に植えていました。大根のまわりに たおれないように支柱をするなど工夫して。残念ながら、やはり枯れてしまいましたが。一度抜いてしまったら根付くのは難しいことを学んだようです。
- ②活動が終わってからの第一声が「楽しかったよママ。次も行くから申込みして!」でした。本当に楽しかったのでしょうか。いろんな発見(身の回りの植物の特徴)を教えてくださいました。普段の生活の中でも、身近な花や葉っぱに興味が出たようです。

## 第2回

## 6月事業

## ネイチャーゲーム

実施期日	平成28年6月19日(日) 13:20~16:30	天候 雨
実施場所	河内長野市天見公民館 (薬師寺であったが雨天で変更)	参加者 34名 (欠席2名)
指導者協力者	25名	講師 大阪府江阿ソグ ネイチャー協会

### 活動内容

早朝から雨のため、活動場所を薬師寺から公民館2階会議室に変更。

13:20~公民館の玄関で受付。靴を脱いで2階会議室へ。13:30~開会式

13:35~講師から今日の活動の流れの話の後、班毎で名前・学校名・好きな食べ物等を紹介して、最初のゲームは「動物絵合わせ」。前にある裏返えしたカードを1枚ずつ取りに行き、動物の絵を完成させた班は出来た!!と大声で叫ぶ。

14:25~水分補給の後「動物ジェスチャー」課題の動物名をもらって、別々の場所でジェスチャーの練習後に発表。何の動物かを動作終了後に言ってもらう。ワニ・ヘビ・ラクダ・ゾウ・キリン・クジャクと各班共に上手な出来栄え。

「ミステリーアニマル」講師はメキシコ沖の深海にいる生き物の話を詳しく話す。

聞いた生き物を想像して絵に描く。最後に本物の写真を見せてもらう。

「落ち葉の窓」朝にリーダー達が集めた落ち葉を3枚選び、葉の形をした窓に裏からセロテープで貼り付ける。スタンドグラスの様になった葉っぱが!!

16:00~閉会式と今日のふりかえりそして来月の説明を聞いて 16:30 解散

活動写真	←「動物絵合わせ」 不用な絵を1枚返し 欲しい絵を1枚 持って帰る	活動写真
与えられた課題の動物名を体で表現「ワニ」	活動写真	活動写真
	「落ち葉の窓」落ち葉のお気に入りをお気に入り3枚選ぶ	完成品

伝言カードの言葉 ①は子どもさんと保護者の会話 ②は保護者の感想

### 3年生女子

①今回のネイチャーゲームの内容

- ・動物絵合わせ・・・とてもむつかしかったけど おもしろかった
- ・動物ジェスチャー・・・ラクダをやった
- ・ミステリーアニマル・・・ダイオウゾウムシの名前をおぼえられなかったが書いた絵がおもしろかった
- ・落ち葉の窓・・・じょうずに出来た。たのしかった。

②今回もとてもたのしかったらしく、あかるく話してくれました。

次の話もたのしみです

### 1年生男子

①写真のパネル、ダイオウゾウムシの話、葉っぱのスタンドグラス。ジャスチャーゲームで象の足をしたことなどを話してくれました。外で遊ばなくて残念だったね。と言うと。お部屋で遊ぶのもめっちゃ楽しかった!と言っていました。

②ぐったりするほど遊んで頂いた様子で、今回もすごく楽しく帰ってきました。2班楽しかったと言っています。次はいつ?と聞いてくるのでうれしく思います。

③ひとりでの参加で輪にはいれるか心配していましたが、よく見て下さっている様子で安心しました。

第3回

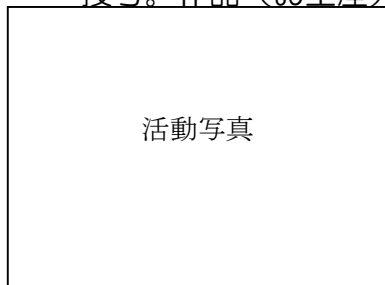
7月事業

竹のクラフト

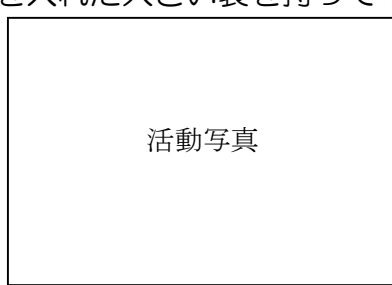
実施期日	平成28年7月17日(日) 13:20~16:35	天候	曇り一時雨
実施場所	河内長野市天見公民館駐車場と建物裏の木陰	参加者	33名(欠席3名)
指導者協力者	36名	講師	烏帽子山保全クラブ

活動内容

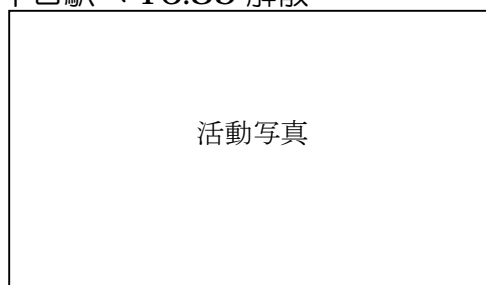
朝から大雨だったが午後から薄日も射して来たので公民館の外で活動。  
 13:25~公民館の駐車場の桜の木陰で開会式。リーダー・スタッフ紹介に続き講師から作品と注意事項の説明があって、荷物を置いて公民館横の竹林へ。  
 竹林の前からクラフトに使用する3種類の竹をかついで公民館へ運ぶ。  
 13:50~公民館裏の木陰と駐車場の木陰の2カ所に分れて作業開始。最初は「竹ぽっくり」(女の子の「ぽっくり下駄」から)の作成にかかる。竹を切る人以外は竹を押えて動かないように協力する。高さ8cm位を2個切り、穴にひもを通して完成。  
 次は「マグカップ」切口をきれいにサンドペーパーで磨く。  
 15:00~「水鉄砲」を作り始めた時に雨が降り出し、公民館の中へ移動する。  
 筒部分の作成、節を残し25cm位に切る。節側にキリで穴を開ける。棒側は節を残し35cm位に切り、節の少し上に隙間テープを巻きその上から布を巻き両端を輪ゴムで固定。雨が止み、出来た班から外で飛ばす練習。班毎に一番飛ばす人を選ぶ。班で一番飛んだ人が出て競争。今度は竹ぽっくりを持ってきて、班毎に駐車場に置いたコーン目印を1周行進する。全員周ることができた。  
 16:20~濡れた服等を着替えて閉会式。水鉄砲で優勝した2班に松ぽっくりのメダルが授与。作品(お土産)を入れた大きい袋を持って千早口駅へ16:35解散



活動写真



活動写真



活動写真

竹が動かないように しっかり押さえて  
 なかなか切るの上手!

完成した「竹ぽっくり」班毎に行進!

班の声援をうけて 代表による優勝戦

伝言カードの言葉 ①は子どもさんと保護者の会話 ②は保護者の感想

1年生女子

- ①竹を切って作った事 楽しかったそうです。  
 「竹を切るのに、かたい所とかたくない所がある」「水てっぽうで誰が1番とばせるかして、自分はあまりとばせなくて、くやしかった」  
 竹コップ!は素麺の器にして食べて喜んでいました。「竹のにおいがする」と話していました。
- ②竹を切る事自体をした事、させた事もなく、帰宅してから今までで1番楽しそうに話をしてくれました。  
 自分で作った事に充実感、満足な様子が顔に出ていました。

2年生女子

- ①竹を運ぶのがしんどかった事。また、その竹は 他の植物の成長のために 切り出してることを教えてくれました。  
 水てっぽうのやり方(上手にやらないと自分自身もびしょぬれになってしまう)も教えてくれました。
- ②のこぎりをさわった事もなかったので 少し心配していたのですが、本人は全くこわがる様子もなく 話してくれたので親の とりこし苦労だったのかな・・・と。  
 また、回を重ねる度に、しっかりしてきたような気がします。



第4回

8月事業

川あそびと水生生物観察

実施期日	平成28年8月21日(日) 13:20~16:35	天候	晴れ
実施場所	河内長野市天見公民館及び岩瀬川		
参加者	32名(欠席4名)	指導者協力者	26名

活動内容

- 13:20~暑い日差しの中、網を持って電車が到着。人数確認後、公民館横の岩瀬川の上流へ。10分程歩いたさん宅の前庭で、川用の靴に履き替え開会式。
- 14:00~川での注意を聞き川へ。川へは段差があるので朝スタッフが準備した特製のはしご階段を降りる。水量はいつもより少なく水温は23℃“冷たい”の声。班毎に上流と下流に分れ水生生物を採取。石が多い小川なので注意して歩く。石を持ち上げたり、網を下流側に置いて上流の石を足でガサガサするとカワヨシノボリやサワガニ等が入る。トビケラやトンボの幼虫、アメンボ、カワムツ、カエル、小魚を獲った子も。採取したものをポリバケツに入れる。
- 15:00~川から上がり、着替えをして、採取した水生生物を一人ひとつ小さな透明のカップに移し、長さを計ったり虫眼鏡を使ったりして観察し用紙に大きく描いた。子どもが見つけたサワガニはお腹に赤ちゃんを一杯抱えていて透明ケースに入れて皆で観る。ツチガエルも観る。最後は生き物を川へ返す。
- 16:10~閉会式後、忘れ物を確認して公民館まで戻り、ふりかえりをし16:35解散

活動写真	活動写真	活動写真
特製の梯子階段、手すりの竹もバッチリ！川へ降りる	網の中に、何か入っている？	採取した生き物を描く 私は「カワヨシノボリ」

伝言カードの言葉 ①は子どもさんと保護者の会話 ②は保護者の感想

1年生男子

- ①あみでメダカをすくったり、カニをつかまえたとのこと。たくさん生き物を見つけることができた。持って帰って自分がどんなにつかまえて、生き物を見つけたかをみんなに(家族に)自慢したかった様子。生き物が少ないので川に返して帰ってきたことを残念そうに話してくれました。
  - ②川に入ったら体が冷えるとか「今日は川遊びだけ?」「つまらなそう」「長袖は暑いからいやや」とだいぶ休みたいと言っていました。
- 帰りは楽しかったらしく上記を興奮した様子ですと話しつつしてくれました。  
「来月は釣りやねん。絶対に行きたい!!」と意欲的でした。夏を感じながら自然にふれることができよい経験ができてよかったです。

2年生女子

- ①川の中の生きもの、たくさん見つけて楽しかったーって、とても楽しそうに話してくれました。めだかやカニを5匹も見つけた事。オスと、メスの見分け方等もくわしく説明してくれて私も勉強になりました。
- ②家族でも川遊びには行っていましたが、見分け方等くわしく教えてもらえて、いつもより充実した川遊びだったんだなとおもいました。

実施期日	平成28年9月18日（日）13:30～16:35	天候 雨
実施場所	河内長野市天見公民館	釣りは天見川小立橋付近で実施予定であった
参加者	33名（欠席3名）	保護者（手伝い）3名・指導者協力者28名

**活動内容**  
 早朝からの大雨で天見川が増水の為「川あそびと魚釣り」を「クラフト」に変更。  
 雨が一時止んで、傘と網を持った子ども達がやってきた。川の活動中止でがっかり！  
 13:30～2階会議室で開会式スタッフやリーダーを紹介しアイスブレイクゲーム。  
 今日の川の状況や魚釣りの竿や生きた餌を見せての説明し、クラフトでは小刀を使うので使い方や注意事項を皆で確認する。  
 「竹の箸づくり」30cm程に切った青竹を使う。鉋と木づちで半分に、また半分を子ども達が順番に繰返す。内側の固い部分はリーダーが削る。竹を小刀で削る。軽く削るとよいが深く刃を入れると中々切れない。初めて小刀を使う子ども達も多くビクビク！だんだんに慣れて最後は紙ヤスリで磨いてきれいな箸ができあがる。完成品を班毎に高く掲げて見せる。休憩とお茶タイム。  
 15:10～「割りばし鉄砲」割りばし2膳を使って、1本を銃の先、持つところ2、引き金部分に切り分ける。引き金の上部を削り輪ゴムを使って6カ所縛る。引き金部分は飛ばず輪ゴムが止まるように縛る。鉄砲に色や模様を付けて教室の前後に置いた紙コップの的をめがけてゴムを撃つ。16:35 解散

活動写真	活動写真	活動写真
------	------	------

朝の釣り場 泥水の川で魚釣り中止  
 地元の方が草刈りしてくれたのに！ 「竹箸づくり」鉋の背を木づちで叩いて割ります。「割箸鉄砲」ねらいを定めて！！

**伝言カードの言葉 ①は子どもさんと保護者の会話 ②は保護者の感想**

**3年生男子**

- ①つりが中止でとても残念がっていましたが、クラフトも楽しかったようで、帰ると イキイキとおはし作りの話をしてくれました。
- ②カッター等 家で使わせていませんが もっと経験させてあげたいと思いました。

**2年生女子**

- ①雨の為 川あそびができなくなって とても残念がっていましたが竹でのクラフト作りがとても 楽しかった様です。帰ってからも一人で割り箸と輪ゴムで鉄砲を作ってくれました。
- ②小刀等、まだ使った事がなかったですが、使い方や注意事項をちゃんと説明したら使っても大丈夫と思いました。家でもちゃんとした使い方、これからカッター等使って色々作ってみたいです。

**4年生女子**

- ①竹をなたで切って 小刀ではしの形にけずった「むつかしかった」  
 ・割りばしでゴムてっぽうを作った。「わりばしを切って ゴムで結ぶだけだったから けっこう簡単だった。」
- ②今まで、カッターなどでえんぴつも削ったことがなく よい経験ができたと思いました。いい感じにけずれていました。

第6回

10月事業

どんぐり拾いとクラフト

実施期日	平成28年10月23日(日) 13:20~16:35	天候	曇り
実施場所	河内長野市天見公民館及び岩瀬地区の山		
参加者	27名(欠席9名)	指導者協力者	20名(講師のシバ-アドバザ-河内長野3名含む)

活動内容

- 13:30~公民館から約10分「オの神南」の信号右側を登った山の上の広場が会場。  
“オープン教室”(ブルーシートの上に座机を6班分設置)開会式でリーダーや講師の「シバ-アドバザ-河内長野」の さん さん他を紹介。
- 14:00~里山の中へ入り「フォトルーム」の飾りやどんぐりコマの材料を集める。  
今年はコナラやクヌギのどんぐりは少なかった。
- 14:25~集めたどんぐり等や準備してもらった材料を使ってフォトルームの木枠の周りに並べて接着剤で貼り付ける。7月に写したグループ写真を入れて完成!  
次はクヌギのどんぐりを使ってキーホルダー作り。ポイントカードで模様を描いたりしてきれいな作品が出来上がる。「どんぐりが焼けた!!」の声。順番に焼けた「マテバシイ」どんぐりの殻を割って食べる。“栗みたい・おいしい!!”と。
- 15:40~どんぐりコマ作り。模様を描いたどんぐりを班で順番に木枠の中で廻す。  
最後は班の代表でコマまわし大会決勝戦。一番になった6班が表彰された。
- 16:35~渋谷さんから「アケビの実」のプレゼントを貰い、時間が迫り急いで駆へ。

活動写真	活動写真	
山上来たきた特設のオープン教室で講師からクラフトの説明を聞く 「フォトルーム」 → こんなの出来た。見てみて!	活動写真	班代表でどんぐりコマ大会決勝戦 応援するメンバー

伝言カードの言葉 ①は子どもさんと保護者の会話 ②は保護者の感想

2年生女子

- ①「どんぐりを食べた!」と帰るとすぐに話してくれました。普段食べる物ではないと思っていたので とてもビックリしたようで「明日学校でもみんなに教えよう!」とも話していました。
- どんぐりごまやキーホルダーも自分で作った事がうれしかったようです。
- 「あけび」のおみやげを どうして食べるかがわからず、種ごと口にいれるのに 始めは抵抗があったようですが 食べると 甘かったと、食感がおもしろかったようです。
- ② 普段は食べると思ってなかった物も食べる事ができると知り、木のみを見ると「これはどうかな?」と興味をもつようになりました。

1年生男子

- ① どんぐりなどをくっつけた写真立ては、机にかざる!と早速並べていました。どんぐりコマの作り方やリーダーのお話しなどをしていました。リーダーがおもしろかったと言っていました。
- ② 毎回ですが、電車を降りるなり「見て～」と作ったものを見せてきます。とても楽しかったんだな と顔を見てわかるので親としても本当にうれしいです。ありがとうございます。

第7回

11月事業

天見の里山ハイキング

実施期日	平成28年11月20日(日) 13:20~16:35	天候	小雨→曇り
コース	天見公民館→塞の神→森のブランコ→鉄塔→展望場所→鉄塔→谷筋→公民館		
参加者	29名(欠席7名)	指導者協力者	21名

活動内容

13:30~公民館駐車場で開会式。リーダー達を紹介して、貼付け用紙を持って出発。実や落ち葉などをセロテープで止め、ひっつきむしはフェルトに引っ付ける。  
 ①のクイズポイントは山から道へ急坂で崩れた様な跡が付いている「この道を通ったのは誰? 正解はイッヅが下りた道。②川の横の石垣の上に「アル双ビトギ」(ひっつきむし) ③石の祠(ほこら)「塞(さい)の神」④大きなイッヅの木が黄葉。途中で小さくて赤いつぶつぶの「カイヤ」を食べ「森のブランコ広場」で遊ぶ。  
 15:00~ここから少し急な上り坂で手袋を付ける。薄暗い森の中の「冒険コース」。道が崩れている所や丸太を並べた橋もあり登り詰めると鉄塔(頂上)⑤に到着。鉄塔の高さの問題を解く。⑥少し降りた所に大きなイッヅが沢山ある。木の間から遠くにかすむ大阪湾を双眼鏡で見て鉄塔へ戻る。  
 15:55~足元に注意しながら急な道を下る。⑦「カイヤ」の実で「カグリ」を作る。(これもひっつきむし) 最後の⑧は先に登った鉄塔を「オの神南」の信号から眺め「あそこまでよく登った!」。公民館に急いで戻り閉会式 16:35解散

活動写真	活動写真	活動写真
きれいな葉っぱや ひっつきむしを集めました		
これはひっつきむし「コセンタングサ」先がキザキザ 森のブランコ広場 ブランコ4種類とシーソーが		

伝言カードの言葉 ①は子どもさんと保護者の会話 ②は保護者の感想

3年生女子

①ハイキングでもの凄いキヨリをずっと歩いたヨ!! 途中でブランコやシーソーがあってそこで遊んだり、クイズしたりした。  
 山で落ちている葉っぱやくつつき虫、ドングリや何かの実(!?)などを拾ってテープではって、森の中の落し物調べをした。  
 山の中から見る景色は、いつも見ている方向とは逆で、初めて望遠鏡を使って、色々な物を遠くに見たり、近くに見たりと楽しかった。  
 ②子供の頃 秋の鍛錬遠足で山を探索する記憶が湧き上がり、話しを聞きながら自分が歩いた道や風景と重ねながら、乾いた落葉をふんだ時の音や 感触を思い出した。  
 あれから一体何年経ったのか等 考えていたが、子供の頃の経験ってやっぱり新鮮でまるで昨日の様に思い出す事が出来るんだ〜と びっくりしました。経験って本当に大事!!  
 初めて経験をした子供と、それを聞いて、思い出す私達、拾って来た物で作った物など しばらくの間、幼少期にもどって、一緒にハイキングしたかの様に話しをしました。

1年生女子

①・野いちごを食べた。思っていた味と少し違っていた。  
 ・ブランコが楽しかった  
 ②いちごを食べた事がうれしかったのか 味の話を沢山していました。(すっぱかったとのこと)

実施期日	平成28年12月18日（日）13:20～16:30	天候	晴れ
実施場所	河内長野市天見公民館1階テラス&2階会議室		
参加者	27名（欠席9名）	指導者協力者	21名（講師：さん）

活動内容

13:25～2階会議室で開会式。1階テラスに移動し 講師から「しめ縄づくり」の話聞く。班毎にワラ束の株側をワラ切機で5cm位切り落とす。角材の上にワラ束を置いて「よこ槌」で叩き、柔らかくした束を一人ずつに分けてもらう。各自で芯の部分を残し余分なしぶん（外側のかす）を取り除くときれいなワラに。

14:05～きれいになったワラ束を持って会議室に戻る。ここからが「しめ縄づくり」。まずワラ束の株元10cm程を針金で強く縛り、穂側を3等分にする。株元を足のつま先でしっかり押さえ、2束分を持ってワラをなう。「両手を広げ、ワラ2束を離して挟み、左手を前に押し、右手を手前に引く作業」子どもの手が小さいのでこの作業がなかなか難しい。残りの一束分をない、先に編んだ縄の縄目に沿って巻きつけると棒状のしめ縄が完成。棒しめ縄を輪にして、重ねた中央部に前垂れ用のワラを巻き固定、この上にウラジロ2枚（白い方を表）を重ね、葉付きみかんと一緒に針金で縛る。丸形のきれいな「しめ縄」が完成。班毎に記念写真。

15:50～閉会式。その後時間までシルバーのさんの指を使ったゲーム。荷物を持ち駐車場へ出てからスタッフのさんの野外ゲームで楽しみ 16:30解散。

活動写真	活動写真	活動写真
わらを横つちで叩き柔らかくします	3等分の2束を持ってよります	4班は皆上手に完成

伝言カードの言葉 ①は子どもさんと保護者の会話 ②は保護者の感想

2年生女子

- ①しめなわ作るのむずかしかった。楽しかった。  
しめなわについているみかんは食べれないよって教えてくださいました。→食べられるけどすっぱいよ!!
- ②しめなわにふれることがないので しめなわがどういうものか知れたし、作れたので貴重な体験になったなと思いました。

1年生男子

- ①しめなわをうれしそに持って帰って、すぐかざって！と言っていました。大晦日まで待って、大掃除後に家のドアに飾りました。  
縄をのばして、ひっぱって、、、など作り方を教えてくださいました。  
いつもの班リーダーの楽しい話も聞かせてくれます。
- ②神様に見てもらおう とうれしそうでした。  
出かけた時に、いろいろな所でしめなわを見つけると、これはりっぱやな、とかかわった形だな、とか話して楽しかったです。

2年生男子

- ①しめなわの捻じる所が難しかったので、少し手伝ってもらった。
- ②毎年、家で飾ってる物を自分で作れてうれしそうでした。

第9回 1月事業

落ち葉で焼いもとゲーム

実施期日	平成 29 年 1 月 15 日 (日) 13:20~16:30	天候	晴れ
実施場所	河内長野市天見公民館・371号線バイパス下の広場		
参加者	29名 (欠席7名)	指導者・協力者	22名

活動内容

13:30~今年度一番の寒い日に。公民館の玄関内で受付を済ませ、371号線バイパス、「才の神南」の信号を左上に登った下の広場（私有地）へ移動し開会式。持参した落ち葉を火床へ投げ入れ燃やす。芋をアルミ箔で包み火床へ入れる。「縮めジャンケン」負けたら少し低くなるゲームや「木とリス」のゲームをした。今度は落ち葉で班対抗であそぶ。「葉っぱ集め」ジャンケンで勝てば落ち葉の山へ葉っぱ1枚を拾いに行く。次に勝てば種類の違う葉っぱを拾うのを繰り返す。班で枚数、何種類集まったか。「同じ葉っぱ集め」は、6種類の落ち葉からリーダーに1枚葉っぱをもらい、同じ葉っぱを落ち葉の山から捜してくる。

14:50~ここで「芋が焼けた!」と声がかかる。焼き上がった芋を自分で選ぶ。アルミ箔を破り班毎で食べ、中には白い色の芋もあり美味し!美味しい!と食べる。

15:20~「葉っぱ取りジャンケン」5枚の葉っぱを持って、ジャンケンで勝てば負けた子から1枚もらう。班で何枚集まったか?最後は「葉っぱ詰め」レジ袋大を班に2枚、袋に落ち葉をどれだけ詰め込めるか? 2班づつ竹の棒で計量する。

16:15~最高得点の2班に松ぼっくりのメダルを贈り閉会式。会場を16:25出発

活動写真	活動写真	活動写真	活動写真
持参した落ち葉を 火床で燃やす	手に持っている葉っぱと違う葉を拾う	芋が焼きあがる	焼いも「おいしい!!」

伝言カードの言葉 ①は子どもさんと保護者の会話 ②は保護者の感想

4年生男子

- ①今日の焼いもは、人生で最高の味だった。  
落ち葉がいっぱい 集まってすごかった。  
当たりの白イモ(?)に当たらなくて、残念だった。  
70コのイモを買ってくるのが大変だったらしい。
- ②帰宅したとたん おイモの話しばっかりしていました。  
よっぽどおいしかったのだと思います。ありがとうございました。

2年生女子

- ①落ち葉で焼いもを焼いたのははじめてだったので すごく喜んで話してくれました。  
落ち葉でチーム別ゲームをしたり、重さをくらべたり、いつもは ほうきではいてゴミ箱に入れる落ち葉で 色々な事ができるね。と話してくれました。
- ②落ち葉でも 色々な形や種類がある事がわかり 今までは 特にきにしてなかった事が 気づけて よかったと思います。  
これからも、色々な物に興味を持ってほしいと思います。

実施期日	平成 29 年 2 月 19 日 (日) 13:20~16:30	天候	晴れ
実施場所	河内長野市立天見小学校体育館		
参加者	35名 (欠席1名)	指導者・協力者	27名 (河内長野市軽スポーツ協会講師4名含)

<p>活動内容</p> <p>会場は天見小学校なので下車駅は天見駅。いつもの千早口駅でリーダーが待機。          13:20~天見駅から徒歩 5 分。体育館入口で受付。3 月 (カニバル) の参加費を集める。          13:40~開会式 担当リーダーやスタッフ、講師の河内長野市軽スポーツ協会の          ( ) 各氏を紹介。ロープを使って「貨物列車」で          雰囲気をごませゲーム開始①『ジャングル探検』縄とび、森のトンネルを          抜けるとマットで前転・はいはい、跳び箱を越え、もぐら叩き、平均台の川渡り。          ②『王様の葉っぱ』箱の中の落ち葉を 1 枚拾い、書いてある指示通り、2 人で          ボールを挟んで走る。③『大玉で GO!!』手作りの大玉を 2 人で転がしリレーする。          ④『スポーツビンゴ』6チームで紅白緑のお手玉を4×4目のネットに投げビンゴになれば得点。          ⑤『ドッチで迷走?』ドッチボールのルールで柔らかいボールを投げて当て合う。          15:00~休憩後、『スポーツラリー』班毎に5種目を順番にまわり得点を記入。種目          は①「キャッチング・ザ・スティック」(棒を持ち、輪になり棒をそのままにして人が          一つずれる) ②「ペットボトルボーリング」③「ストラックアウト」(6枚の番号          札にボールで当てて倒れた得点を競う) ④「大縄とび」(跳んだ回数) ⑤竹馬 (歩数)          16:20~閉会式、指導してもらった皆さんにお礼を言って 16:30 解散 天見駅へ</p>		
活動写真	活動写真	活動写真
ジャングル探検で森のトンネルを抜ける	大玉で GO!!(思うように進まない)	ドッチボールで迷走?(7777のボールで)

伝言カードの言葉 ①は子どもさんと保護者の会話 ②は保護者の感想

**1年生男子**

- ①体を動かすことが好きなので とても楽しんだ様子でした。  
カードを見せてくれて ひとつずつ内容を説明してくれたのですが、  
ドッチボールが一番楽しかったようでした。
- ②生き生きして帰ってきて、いつもより早くふとんに入っていました。  
インフルエンザが流行ってますが、元気に楽しく遊んで 帰ってきてうれしく思いました。

**4年生女子**

- ①ペットボトルボーリングが意外とあたらない とか 竹馬がむつかしかったそうです。
- ②日頃体験できない 遊びをしたことで とても楽しかったのがみえました。  
今回この教室に参加することができて良かったです。

**3年生男子**

- ①「ドッジボールやいろんなゲームをして楽しかった」と言っていました。「竹馬は初めて  
やったけど結構難しかった」「ボーリングは1つも倒せなかった」と残念そうでした。
- ②私が子供の頃は、年長くらいの年で竹馬を楽々のっていたように思いますが、  
今の子は体験していないんだと 時代を感じました。

実施期日	平成 29 年 3 月 12 日 (日) 12:50~16:10	天候	晴れ
実施場所	河内長野市立天見公民館・371号線バイパス下の広場		
参加者	36名(欠席0名)と家族57名(おとな45名 こども12名) 指導者・協力者 30名		

活動内容

13:00 公民館で家族も一緒に受付を済ませ班に分かれて「カーニバル」会場へ移動。  
 公民館からバイパス道路を10分程歩いた農地(私有地の広場)で開会式。

13:15 ディレクターの進行でリーダーやスタッフを紹介、 公民館館長の挨拶後、  
 活動の説明を聞き、ポイントカードをもらい4班に分かれて活動開始。

13:30 四つのコーナーを順番に回る。①カモフラージュ(林の中に隠されたミニチュアの動物や虫などを見つける)。②-1 ひつつきむしのダーツ(フェルトの的にひつつきむしを投げる)  
 ②-2 どんぐりはさみ(紙皿に大中小のどんぐりを入れ別の皿に箸で挟んで移す)  
 ③竹の輪のけん玉作りと競争(竹をノコギリで切った輪と竹箸をタコ糸で結び、箸の端を持ち、竹の輪に箸の先を通す)  
 ④コマ回し(木枠の中でコマの回った時間を計測)

会場の横では大バームクーヘン作り、太さ15cm位の竹に材料を塗って火の上にかざし竹を回しながら焼く。様子を見て保護者も子ども達も興味深々! コーナーを周る途中に材料を掛けるのを手伝ったりする子も。焼き上がり、竹から抜いて切ってもらったアツアツのバームクーヘンをいただく。美味しい!  
 各コーナーでは、お父さんやお母さんも一緒に挑戦し、子ども達と競争したり、教えたり、頑張れ!と励ましたり。中にはお父さん凄い!と認めてもらったりも! 皆、真剣に取り組みゲームを楽しみながら得点を競った。

15:50 閉会式 お世話になった全スタッフを紹介後、 実行委員長のお礼の挨拶。委員長からポイントカード最高得点者2名と皆勤賞14名に松ぼっくりのメダルが贈られ、松尾コーディネーターから話があり、最後に全員で感謝の拍手をして、スタッフに見送られ、活動を惜しみながら駅へ出発。16:10 解散。

活動写真	活動写真
梅の花も満開 広場で開会式	竹のけん玉づくり ノコギリ頑張れ!
活動写真	活動写真
活動写真	活動写真
カモフラージュ あんなところにいる	大バームクーヘン2本で120人分
コマまわしの経験者? さすが!	
最終回のため伝言カードはなし	





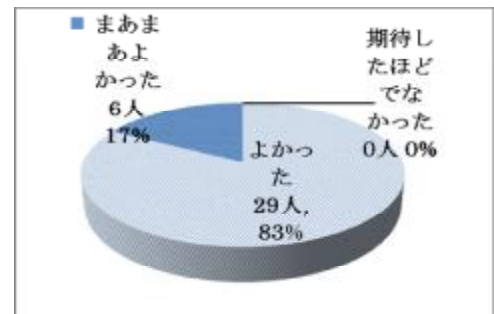
## 平成 28 年度 2 月終了時点でのアンケート結果 (回答数 35/36)

### 1. 「天見 子ども自然とあそびの教室」に お子様を参加されてどうでしたか

よかった、まあまあよかったが 100%

### 2. 保護者の方から見られてどんな ことがよかったと思われますか

- ・普段は体験できないこと(竹の水鉄砲作りや、どんぐりの試食・森のブランコ・一人で電車に乗る等)を毎回させていただき、本人の経験として入り、人として成長したと思えるため。
- ・自然の中での体験だけでなく、しめなわ作りやレクリエーションといった、文化や体を動かす体育的なプログラムも取り入れてくださった点。
- ・家ではなかなかさせられない、自然の中での遊びができたこと。
- ・電車に一人で乗って行った事。
- ・普段、経験しない事を年齢の近いお友達と協力出来たことが良かった。
- ・のこぎりなどの工具は家で使ったことがなかったので、使わせてもらえて自信をつけて帰ってきた。他校の子と交流ができ毎回楽しそうに参加しているので・・・。



### 3. お子様によかった・気に入った活動 (2 活動選択) のベスト 3 は

- 1 位 1 月落ち葉で焼きいいも (16)    2 位 8 月川あそびと水生生物観察 (13)  
3 位 11 月天見の里山ハイキング (8)    3 位レクリエーションスポーツ (8)

### 4. この活動で体験できてよかったこと (複数回答)

- ① リーダーや講師から色々なことを教えてもらった(25)
- ② 友達ができた(20)
- ③ 始めて自然の中で体験したことが沢山あった(19)
- ④ 木や草・虫などの自然のものに興味を持つようになった(11)
- ⑤ 自信を持って取り組むことができるようになった (8)
- ⑥ 友達と協力することができるようになった(6)
- ⑦ 家族での会話が増えた(5)
- ⑧ その他 (色々な工作が出来た・家族と別行動で休日を楽しく過ごせた)

### 5. 参加されて何か自然に興味や関心を持ち始めたことはありますか

- ・植物などに関心があり、身近な草の名前などを調べて覚えたりするようになった。
- ・今までは、何気なく見たり、観察してた生物も、本などで名前を調べたりする様になりました。
- ・家でも何か作ろうとする機会が増えた気がします。
- ・川と山の事を話す様になりました。
- ・もっと外で山とか自然とふれあい遊びたいと言っています。
- ・自然観察に興味をもった(いのししの足跡をみつけた)
- ・虫を少しこわがってたのが、多少 改善された。
- ・家でも花や野菜を植えることを積極的に手伝うようになってくれました。
- ・枯れるという事が、植物にとっての死であり、短いからこそそのキレイさがあつたり、木などの長い寿命で太さが違うなど人間や動物と同じ命がある事。

## 6. 「自然を大切にしよう」とどんなことをお子様は思いましたか

- ・今までは、ゴミにしていた落ち葉も、色々なことができるんだなあと思いました。
- ・生き物の住みかが無くなるので、多様な生物が生息できるように、自然を大切にしたい。
- ・山には、虫や鳥など たくさんいてるから汚したくない。
- ・ゴミを捨てない様にする。
- ・せみは1週間で死んでしまうから、つかまえずに鳴いているのを見守ろうと思った。
- ・道端などに咲いている花も生きていて、キレイからと採ると花を殺してしまうことを知った。これからは、ちぎったりせず、ながめたり、そのままの美しさを楽しみたい。

## 7. 天見地区の自然についての感想は

- ・とても自然がたくさんあっていい所なので、他の子供たちにもこの自然を体験してほしい。
- ・自分も毎回、一緒に自然とたわむれたかったです。
- ・とても良かった。山の天気、気温なども違うことがわかったです。
- ・野や山、川があり本当に自然が豊かだと感じます。貴重なものなので、是非開発が進まないよう守ってほしいと思います。
- ・天野校区もなかなかの田舎なので、特別感想はありませんが、天見地区の土地の方も参加されている活動という点で、良い地区だなあと思います。

## 8. 担当しましたリーダーやスタッフへのご意見は

- ・1年間、よく見て頂いて、ケガもせず本当に感謝の気持ちでいっぱいです。
- ・リーダーが毎回、駅まで送り迎えして下さり、子供も親も安心して送り出せました。協力して下さったスタッフ、ボランティアの皆様には大変お世話になり、有難うございました。
- ・お茶を忘れた時、お茶をもらって優しさに感動しました。ありがとうございます。
- ・子供自身が体験することで生まれる、色々な気持ちや行動力は聴いただけでは生れず、体験の重要性を知りました。1年間細心の心配りをして頂き、のびのびと遊ばせて頂きました。
- ・毎回 いろいろな企画を通して、お世話になり ありがとうございます。子供がよろこんで、楽しく通えたのも、リーダーやスタッフの方があたたかく見守って指導していただいたからだと思います。お世話になりました。

## 9. 主催者への要望や感じられたこと何でも

- ・すばらしい企画をこども達のために開いて下さり、本当に頭の下がる思いです。
- ・毎年人気だと聞いていましたが、今回参加する事が出来て、とても良かったです。これからも続けていただけるようお願い申し上げます。
- ・1年間色々な体験をさせて頂いてありがとうございました。
- ・毎回色々と趣向を凝らした内容で、とても良い事業だと思います。ぜひ今度も続けて頂き、また機会があれば参加したい(させたい)と思います。
- ・当選出来てよかったです。
- ・たくさんの方に見守られているので、毎回安心して参加させることができました。本当にありがとうございます。

## 10. 毎月の活動を NPO 法人ナックのホームページに掲載しています。

毎回見ている 12名 たまに見ている 9名 見たことがない 7名

- ・毎回、掲載されると楽しみにしていました。(親子で..)プリントして保管しています。
- ・子どもたちのイキイキとした様子が伝わり「言っていたのはこのことか～」と分かり毎回楽しみでした。

## スタッフのメッセージ

子供の健全育成のために欠かすことができない

### 「天見子ども自然とあそびの教室」活動

#### 実行委員

現在は成長過程にある子供が、自然に接する機会が非常に少なく、また、子供同士が屋外で遊ぶことも少なくなりました。

新鮮な空気、輝く光を全身で感じながら、自然の美しさ、不思議さ、またその怖さを実感する自然体験を重ねることは、心にゆとりが生まれ、子供の健全な精神の育成に欠かすことはできません。

また、当教室での活動を通じて、新しい友達ができたり、リーダーとして子供達のお兄さん、お姉さん役をしてくれている若い人達との交流は、子供の社会性を育てています。いかにも楽しげな様子を見ていると、こんな機会をもっともっと子供達に提供してあげたいという思いに駆られます。

文部科学省も以前から子供の健全育成のために、自然体験や集団活動を積極的に取り入れることを呼びかけています。

当教室のスタッフの皆様方に心から敬意を表し感謝しながらこの教室の活動がいつまでも続けられることを願ってやみません。

### 「天見子ども自然とあそびの教室」との関わり

#### ディレクター

本職を離れ二度目のお勤めが河内長野市でした。その職場でこの教室を始めることになるとは考えてもいなかったことです。

自然のかかわることは学校でも学び、元職でも自然教育について講習会などや事業として携わってきたのですが、植生や自生そのものに難しさを感じました。

教室の回数を重ねるに従い自然の変化を感じることもあり、従って細部の進展にも変遷が加えられて展開を図っていくことになりました。

「必要と思われる体感を味わいながら得るものは、子ども自身に得るものと成らん」と考え、保護者にとっても希望されることと考えられます。

動きを伴う活発な子、じっくりと考えながら展開を図る子などコミュニケーションを取りながら展開を図ることが友達作りにつながって、楽しさを感じながら自身がまえにすすめる。

12年間にわたり大きな怪我をすることも無く、皆さんが楽しんでいただけたのはリーダーの若者、地域の方、福祉委員や役員さん達のお陰です。

声や足運びに老いを感じ始めた私から、ありがとうございますのお礼を申し上げます。

## 大学の先生のメッセージ

### 「天見子ども自然とあそびの教室」12年間をふりかえって 四天王寺大学 准教授

平成 17 年 5 月から開始したこの「教室」も早いもので 12 年間で過ぎた。当初からスタッフとして関わらせて頂いており、毎年 5 月の「保護者説明会」では、自然体験活動の意義と、この「教室」の目的を話させて頂いている。保護者は、抽選の結果参加できる安堵感と同時にこの「教室」に対する熱い期待を持っておられ、スタッフの一員として責任を毎年感じている。

この「教室」は、「自然体験活動を通して、仲間意識や生活の知恵を学び生きる力を育む事ができること」を目的としているが、参加児童だけではなく、学生にとっても大学内の授業だけでは学べない自然体験活動や児童への野外活動支援の機会となり、有意義な学習の場になっている。

本学の学生は、平成 19 年度より現在まで継続してリーダー及び実習生の機会を頂いた。10 年間でリーダー数 64 名、実習生数 62 名となっている。

卒業後は、この体験を活かしそれぞれの職場で活躍している。改めて、この有意義な機会を頂き感謝を申し上げます。

### 「天見子ども自然とあそびの教室」 帝塚山学院大学 教務課

天見の教室と大学をつなぐ仕事を始めて早 3 年になろうとしています。授業では複数ある実習先の内から一つを選ぶのですが、天見は毎年人気の実習先でした。奇しくも天見は私が幼い頃、山歩きに来た懐かしい場所で、初回 5 月の活動には引率として参加させてもらい美しい野山の春を体感しました。

学生からは後日活動報告を受けるのですが、楽しかったこと、苦労したこと等活動ごとに毎回違った話を聞くことが出来ます。ただ毎回共通していることがあります。それは彼らが自然体験の大切さを感じていること。というのも最近の子どもは自然体験が少ないと言われてがちですが、大学生活でも自然に触れる機会はそうありません。私には子どもたちの大切な体験のお手伝いをしながら、彼ら自身も自然や人とのかかわりを学んでいるように見え、これは大変有難いことだと思いました。

最後になりましたが、天見の教室の皆様、お世話になったすべての方に学生とともに感謝申し上げます。

## 担当したリーダーの感想

### 「天見子どもの自然とあそびの教室に参加して」

リーダー 大阪大谷大学 3回生

私は天見の自然教室に参加するまでは、家の近くに自然があまりないので、自然体験をすることがありませんでした。また、小さい頃に遊んでいた草原も今は工場になっています。しかし、天見の自然教室に参加することによって草原で思いっきり走り回ったり、寝っ転がったりすることができました。また、子どもたちが持ってきた落ち葉を、燃やして作った焼き芋を食べました。スーパーで売っている焼き芋よりも炭の香りがしてとても美味しかったです。落ち葉を、燃やして作った焼き芋は初めて食べました。

天見の自然教室に参加して、子どもが自ら自然に興味をもち積極的に活動していると感じました。わたしも子どもたちと一緒に自然を通して様々なことを発見し、楽しむことができました。

### 「天見子ども自然とあそびの教室」

リーダー 帝塚山学院大学 3回生

天見子どもと自然の教室に参加させていただき、有難うございました。とても楽しかったです。子ども達と一緒に私も知らなかったたくさんの自然のことを知ることが出来ました。

子供とリーダーも、リーダーとリーダーも仲良くなり、山に登ったり、自然に関するクイズと一緒に解いたり、広場で遊んだりして、とても充実のした活動をさせて頂きました。

様々な活動を通して子ども達の成長も見ることができ、5月の「野や山の宝物さがし」時は子ども達も慣れていない様子も見られましたが、最後の活動の「家族で天見のカーニバル」時には保護者の方と共に楽しんでいる子ども達の姿がとても嬉しかったです。

リーダーとして子ども達に教えるだけでなく、反対に子ども達に気付かせて貰うことも多々ありました。子ども達と全力で遊んだことで、私の方が元気をもらったほどです。

1年間、有難うございました。子ども達のたくさんの笑顔を見ることができ、さらに学びの多い活動に参加させて頂き、楽しかったです。

活動写真

草笛に挑戦



報告書 平成29年3月末日発行  
天見 子ども自然とあそびの教室実行委員会